

いんふおめーしょん  
こうせい



2025年  
冬号

No.127

ご自由にお取りください

プロフェッショナルなサポートで安心を届けたい  
すべての患者さんに寄り添う“がん診療センター”



Index

- P2 新年のご挨拶 病院長 度会 正人
- P3 特集 チームでつなぐあなたの健康 がん診療センター
- P6 安城更生病院スタッフのスキルアップREPORT
- P7 医療のことば事典 ■医療ソーシャルワーカー(MSW) ■内臓脂肪CT検査
- P8 患者満足度調査結果報告
- P10 連携医紹介 ■ピーチベルクリニック ■石川内科
- P11 かかりつけ医をもちましょう!
- P12 News&Topics



# 新年のご挨拶

令和7年の年頭に当たりご挨拶申し上げます。

医師の働き方改革法が施行された昨年は病院にとって大変厳しい年でした。医師数が増えることなく勤務時間の制限が強化されることになり、現在も対応に追われています。このことよって診療機能の低下が生じることは許されませんが、個々の施設の努力では限界があります。地域医療を守るため、地元医師会並びに圏域の医療機関との連携をより密接なものとし、機能分化をさらに推進していくことが求められます。安城更生病院が担う最も重要な役割は、救急患者さんや手術・検査など入院を中心とした高度医療を必要とする患者さんに遅滞なく適切な医療を提供することです。そしてこの機能を維持するためには、当院での急性期医療が終了した慢性期の患者さんや、病状が安定した患者さんの継続管理を、連携する施設・かかりつけのクリニックでお願いする——このことを当院では連携紹介と呼びます——機能分化が必要です。この連携こそが限られた医療資源を有効に生かす解決策の一つと考え取り組みを進めています。その一環として、当院では昨年7月に初診時選定療養費の改定と一部診療科での完全予

約制移行を実施いたしました。地域の医療を地域全体で守る、この主旨をご理解頂き、当院を上手に使っていただきますようお願い申し上げます。

さて、安城更生病院は本年創立90周年を迎えます。世界恐慌さなかの昭和10年、この地域の命と健康を守るべく45床、職員数40名から始まった当院は、771床2000名の職員を擁する中核病院に成長しました。この先も需要が大きく増加するこの地域の医療を守る責務を果たし続けねばなりません。安城更生病院はこの地域の人々が創り、地域とともに育ってきた病院です。伝統を受け継ぎ、安城市の市民病院的役割、高度医療を提供する圏域の中核病院、さらには優れた医療人を育成する教育病院という3つの役割、救命救急・周産期医療・がん医療・災害医療という4つの中核機能を果たし続ける決意です。そしてすべての領域で最適の医療を最高のホスピタリティーをもって提供し、地域の皆さんに信頼されるときともに、われわれ職員が誇りうる唯一無二の病院を目指して、立ち止まることなく歩み続けます。

令和7年 元日 記

病院長 度会 正人

チームでつなぐ

# あなたの健康

病気のためではなく“人”のために

File. 03

## がん診療センター

当院のがん治療は、高度な設備と専門性の高いスタッフで、一人ひとりの患者さんに応じた治療や看護、相談支援を総合的に行う体制を整えています。

当院は、2003年に西三河

南部西医療圏の地域がん診療連携拠点病院として国から指定を受けています。2021年に設立したがん診療センターは、がんに関わるすべての診療を当院で完結し、患者さんご家族を最大限支援することを目標としており、当院がこれまで培ったがん診療に関する叡智を集結し、全診療科・全職種が協働することで、個々のがん患者さんへの総合的な支援を実現しています。

標準的な治療、最先端の治療を受けられることはもちろんですが、当院の最大の強みは治療・支援に関わる専門職、いわゆるスペシャリストたちの「やさしい心」です。患者さんご家族に対して「やさしい心」を持ったがん診療を提供し続けます。

なお当院は下記の設備で「三大治療法」を行っています。

次のページでは当センターのスペシャリストやサポート体制を紹介！

設立から90年を迎える本年も、開院時の精神を忘れず、使命感と誇りを持って地域の皆様を支えていきます

### ● 手術療法

がんの外科的な切除です。内視鏡外科手術やロボット支援手術など、患者さんそれぞれの病態に合わせて、体への負担を少なく、治療後の合併症を最小限にするように手術を行います。

### ● 薬物療法

抗がん剤などの薬物を使い、がん細胞の増殖を抑える治療です。入院だけでなく、通院治療も行っていきます。当院の通院治療センターでは、患者さんが安全かつ安心・快適にお過ごしいただけるよう環境を整えています。

### ● 放射線治療

放射線を照射して、がん細胞の増殖を抑える治療法です。最新がん治療機器(ラディザフト・サイバーナイフ)と専門的知識を持つスタッフで、患者さんにとって最適な治療を行います。

内視鏡手術支援ロボット“ダヴィンチXi”。2021年10月に導入し、2024年9月に2台目を導入しました

### 手術療法



点滴室ではリクライニングチェア40脚、個室(ベッド)3室の合計43床を完備。チェア・ベッドは小型液晶テレビ付き

### 薬物療法



### 放射線治療

強固ながん治療体制を支える最新医療装置(上:サイバーナイフ、下:ラディザフト)





患者さんを支えるスペシャリスト

がんに関する特別な認定を取得したスタッフを中心に、各分野で高い専門性を持つスタッフが患者さんの心と体をやさしくケアします。

栄養指導(管理栄養士)

患者さん一人ひとりの体調や治療に寄り添い、負担を少しでも軽減できるよう食事面から治療のサポートをします。食事は心と体を支える力です。無理なく続けられる方法を共に見つけ、安心して治療に専念できる環境づくりをお手伝いします。

服薬指導(薬剤師)

がん薬物治療中の患者さんに対し、服薬管理や治療内容を理解するサポートなど、薬物の治療支援を多職種で連携して取り組んでいます。治療に伴う症状や薬に関する不安・疑問をお伺いし、医師・看護師などの多職種と連携して、治療の質向上を目指します。

がんリハビリ(リハビリテーション技師)

総勢41名3職種理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)で、日々患者さんの気持ちに寄り添い、機能回復・維持を目標にリハビリを実施しています。がんの治療中は、全身の筋力低下や倦怠感により歩行などの動作が思い通りに行えず、精神的にも落ち込むことがあります。そんな中でも患者さんがその人らしく過ごしていくために、リハビリを通して支援します。

がん相談支援センター(医療ソーシャルワーカー)

がん診療連携拠点病院に設置される、がんに関する相談窓口です。医療ソーシャルワーカーがお困りごとの解決を助け、その人らしい生活や治療選択ができるように支援します。プライベートの相談を実施しています。匿名相談も可能です。

看護外来(看護師)

がんと言われて平常心を保てる人はいないでしょう。多くの情報から何を選ぶべきか、自分らしく生きるためにどうするべきか、何に注意するべきかなど、私たちに相談してみませんか。解決に至らなくても、思いを聞き、一緒に考えることで、不安やつらさが減ることを目指しています。ご希望の方は一度主治医にご相談ください。ひとりで悩まずに、つらさを吐き出してみませんか？

症状緩和チーム

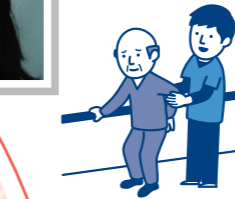
その人らしくあるために身体と心のつらさを取り除く専門家の集まりです。私たち緩和医療の専門家が多職種のスタッフと連携し、がんや診断された時から生じる身体・心の「苦痛」の緩和に努めています。入院中はもちろん、外来での支援も行っています。また患者さんを支えるご家族の支援も重要な役割です。ご希望の方はお気軽にスタッフへお声かけください。



栄養指導



服薬指導



がんリハビリ



がん相談支援センター



看護外来



症状緩和チーム



治療以外でも支える体制

治療後・退院後のケアのほか、患者さんご家族に対するケアも含め、手厚い体制を整えています。

がん談和会

がん談和会は、がん患者さんやご家族が心の悩みや体験を語り合う交流の場です。話し合い、気持ちを和らげることを目指しています。がんの種類はさまざまですが、治療体験や生活の工夫、共通する悩みなどを話し合い、お互いに支え合おう会です。ぜひお気軽にご参加ください。

ピアサポートサロン・就労支援

がん患者さんとそのご家族をサポートします。相談は無料です。

ピアサポートサロン

【対応者】がん体験者  
【予約】不要

就労支援

【対応者】社会保険労務士  
【予約】がん相談支援センターにて、事前申し込みが必要。

【日時】毎月第2金曜日 10時~12時

【場所】2階再来受付機の前



季節のイベントを開催しています！

がん談和会

治療中は退院後の熟練のスペシャリストとサポートします！もちろん、フォローもシャリストと体制でします！

がん地域連携パスの活用

がん地域連携パスとは、当院で手術治療をされた患者さんに対して、かかりつけ医と当院で経過を共有し、治療を行うためのツールです。日々の診察等はかかりつけ医、節目の診察等は当院で行うことで、複数の主治医によるサポートを受けることができます。また、患者さんは当院への頻繁な通院が不要となり、通院の負担や外来での待ち時間を軽減できます。



ピアサポートサロン

がん地域連携パスの活用



術後フォローアップ(原則5~10年間)

がん治療を行った病院  
・がんの専門的な治療  
・検査  
(半年~1年毎)

地域のかかりつけ医  
・日常の診察、投薬  
・がん治療の経過観察  
・必要時の紹介  
(月1回程度)

センター長メッセージ 治療に臨む患者さんを“やさしい心”でサポート

近年、がん治療において手術療法・薬物療法・放射線療法は進歩を遂げ、治療成績は向上してきています。しかし、いくら治療が進歩しても、がんに立ち向かうためには、皆さんの心と体が強くなってはなりません。がんや診断されると皆さんの生活はがらりと変わってしまいます。仕事、家庭などの環境が変化し、治療を受けていく中で身体的・精神的な変化に戸惑われることでしょう。当院では、効果の高い治療を提供するとともに、皆さんが心も体も万全の態勢で治療に臨めるように“やさしい心”を持ってサポートいたします。



がん診療センター長  
あめみや たけし  
雨宮 剛





▲医療福祉相談室

医療ソーシャルワーカーは、医療機関に在籍して、患者さんご家族の抱える心理的、社会的、経済的問題の解決・調整を社会福祉の立場から援助する専門職です。Medical Social Workerの略で「MSW」とも呼ばれます。

# 医療ソーシャルワーカー(MSW)

絡調整を行います。

また、MSWは

患者さんと地域をつなぐ役割も担っており、地域の医療福祉関係者、関係機関など外部の多職種とも連携を取っています。MSWで対応が難しい場合は適切な窓口へご案内することがあります。



当院本棟1階の「医療福祉相談室」にて、どなたでもMSWに相談できますので、心配事があればお声がけください。

例えばこんな相談ができます！

- 医療費が払えるか心配…
- 退院後の生活が心配…
- 家族の介護について相談したい
- 病気を告知されたが受け止められず不安
- 利用できる社会福祉制度を知りたい
- 病気で職場復帰できるか不安 など



いざという時のために、対応方法を体にたたき込みます



講師の説明をもとに全員同じステップで学んでいきます

## 災害医療学習会を院内で受講!

災害時に万全の対応をするために、スタッフ一丸で対応力強化

当院は地域中核災害拠点病院として、大規模地震発生時に地域住民の救命において重要な役割を担います。そのため平時から災害対応への知識と意識の醸成を目的に、災害医療学習会を開催しています。この学習会では、けがや病気の緊急性に応じて治療の優先順位を決定するトリアージの学習や全職種で行う机上訓練を通じ災害対応力を高めています。

これからの地域中核災害拠点病院としての地域貢献と役割を再確認し、防災意識の向上を図っていきます。

聞いたことはあるけれど…

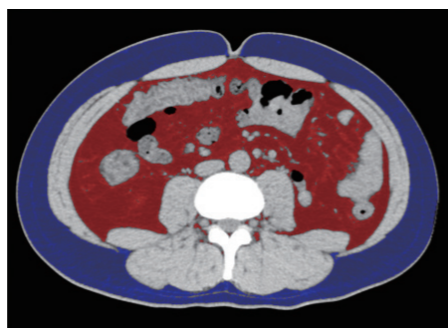
そんな医療の言葉を、当院の専門スタッフが分かりやすく解説!

# 医療のことば事典

## 内臓脂肪CT検査

！診療放射線技師が教えます

CT装置を用いて、へその高さでの画像を撮影し、内臓脂肪と皮下脂肪を分離計測する検査です。内臓脂肪の多さが分かるため、隠れ肥満の発見に有用です。内臓脂肪とは胃や腸といった内臓の周りについていた脂肪のことです。体脂肪の中でも内臓脂肪は生活習慣病との関わりが深く、内臓脂肪が多いと心筋梗塞や脳梗塞をはじめとするあらゆる病気のリスクが高まります。肥満の中でも内臓脂肪が100.0cm以上ある場合は「内臓脂肪型肥満」と判断され、これは病院で内臓脂肪CT検査を行うことで判定できます。



▲赤:内臓脂肪 青:皮下脂肪

CT装置を用いて、へその高さでの画像を撮影し、内臓脂肪と皮下脂肪を分離計測する検査です。内臓脂肪の多さが分かるため、隠れ肥満の発見に有用です。内臓脂肪とは胃や腸といった内臓の周りについていた脂肪のことです。体脂肪の中でも内臓脂肪は生活習慣病との関わりが深く、内臓脂肪が多いと心筋梗塞や脳梗塞をはじめとするあらゆる病気のリスクが高まります。肥満の中でも内臓脂肪が100.0cm以上ある場合は「内臓脂肪型肥満」と判断され、これは病院で内臓脂肪CT検査を行うことで判定できます。

(参考：日本肥満学会肥満症診療ガイドライン2016)

安城更生病院スタッフの

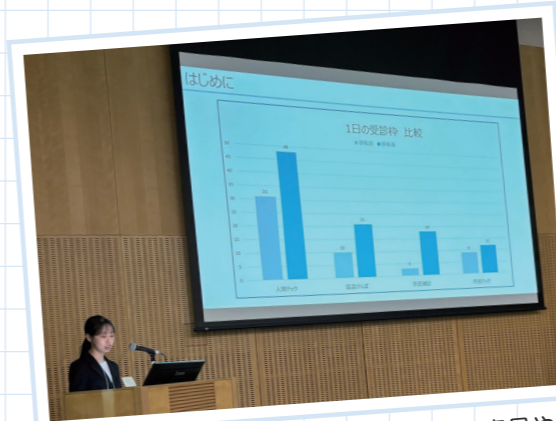
# スキルアップREPORT

若手からベテランまで、全職員が力を合わせて研さんを積む様子を知っていただければ幸いです。



## 日本農村医学会 学術総会へ参加!

学会での発表や交流で知識をグレードアップ!  
新潟県で第73回日本農村医学会学術総会が2日間にわたって開催されました。この学術総会は、多様な職種の研究結果や取り組み成果の発表の場となっています。



発表後は、当日出た意見や自分の反省点をきちんと振り返り、今後の業務に生かします



参加者同士で励まし合いながら当日への準備を進めました!



# 患者満足度調査 結果報告 2024年

**実施期間** 外来 令和6年7月22日(月)～23日(火)  
入院 令和6年7月16日(火)～19日(金)

**回収率** 外来 62.9%(516/821枚)  
入院 66.4%(320/482枚)



〈凡例〉

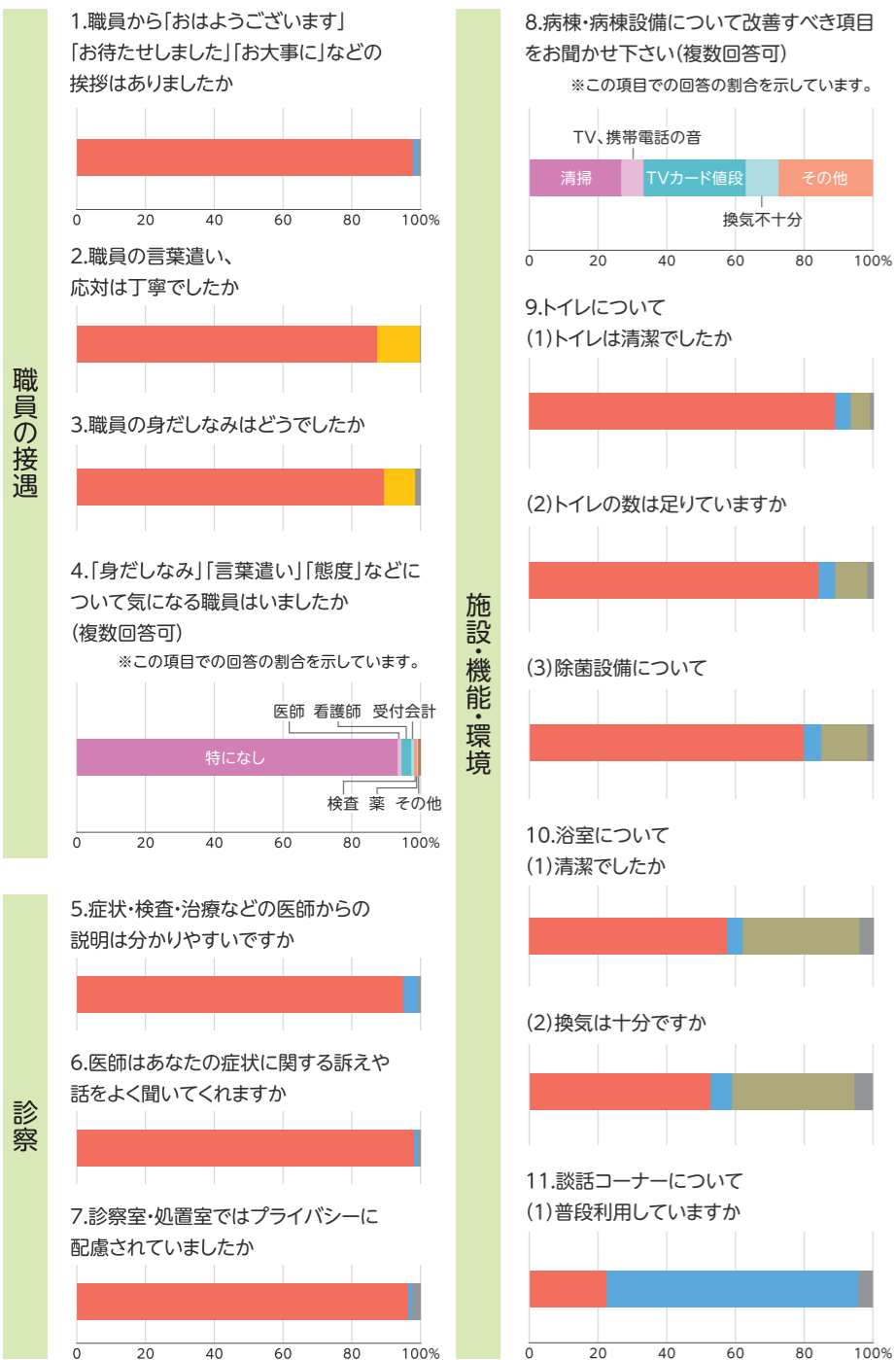
- あった・良かった・満足・はい
- やや満足
- 普通・どちらともいえない
- やや不満
- なかった・悪かった・不満・いいえ
- 利用していない
- 無回答

当院では、患者さんやご家族の皆さんから広くご意見をいただき、病院運営改善に努めていくために「患者満足度調査」を年1回実施しています。調査は、外来患者さん向けに2日間、入院患者さん向けに4日間実施し、職員の接客に関する事、診察に関する事、施設面に関する事、全体評価について幅広く回答いただきました。外来部門・入院部門別に実施結果をまとめましたので、報告いたします。調査にご協力いただきました患者さん・ご家族の皆さんに感謝申し上げます。

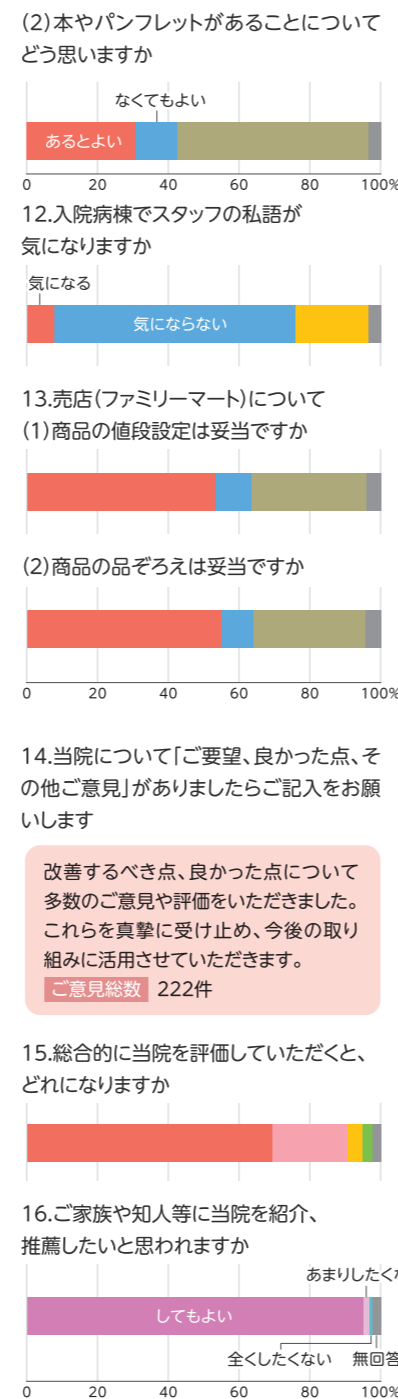
## 結果を受けて

- ① 接客に関する設問**  
外来・入院ともにおおむね良い評価をいただきました。職員の身だしなみ、言葉遣い、応対については外来・入院部門ともに改善傾向にあります。
  - ② 診察に関する設問**  
入院部門については医師からの説明、プライバシーの配慮について、良い評価をいただいています。しかし外来部門においては、医師からの説明の分かりやすさ、話をよく聞いてくれるか等については不満の評価が増えている結果となりました。
  - ③ 施設・機能・環境に関する設問**  
おおむね例年同様の評価をいただいています。が入院部門のトイレについて、大幅に良い評価をいただきました。
  - ④ 総合評価**  
当院の総合的な評価について、「満足」「やや満足」の割合は外来部門では80・6%、入院部門では90・4%であり、当院を利用される方にはおおむね満足いただいている結果となりました。しかし一部において「不満」の評価をいただいていますので、この評価に甘んじず、今後も、気持ち良く病院を利用していただける環境づくりに取り組んでまいります。
- 今回の調査に限らず、皆さんからの「要望やご指摘の声をお伺いするため、院内に「ご意見箱」を常時設置していますので、「ご協力いただきますようお願い申し上げます。お忙しい中調査に快く協力してくださいました方々に、改めて感謝申し上げます。

## 入院

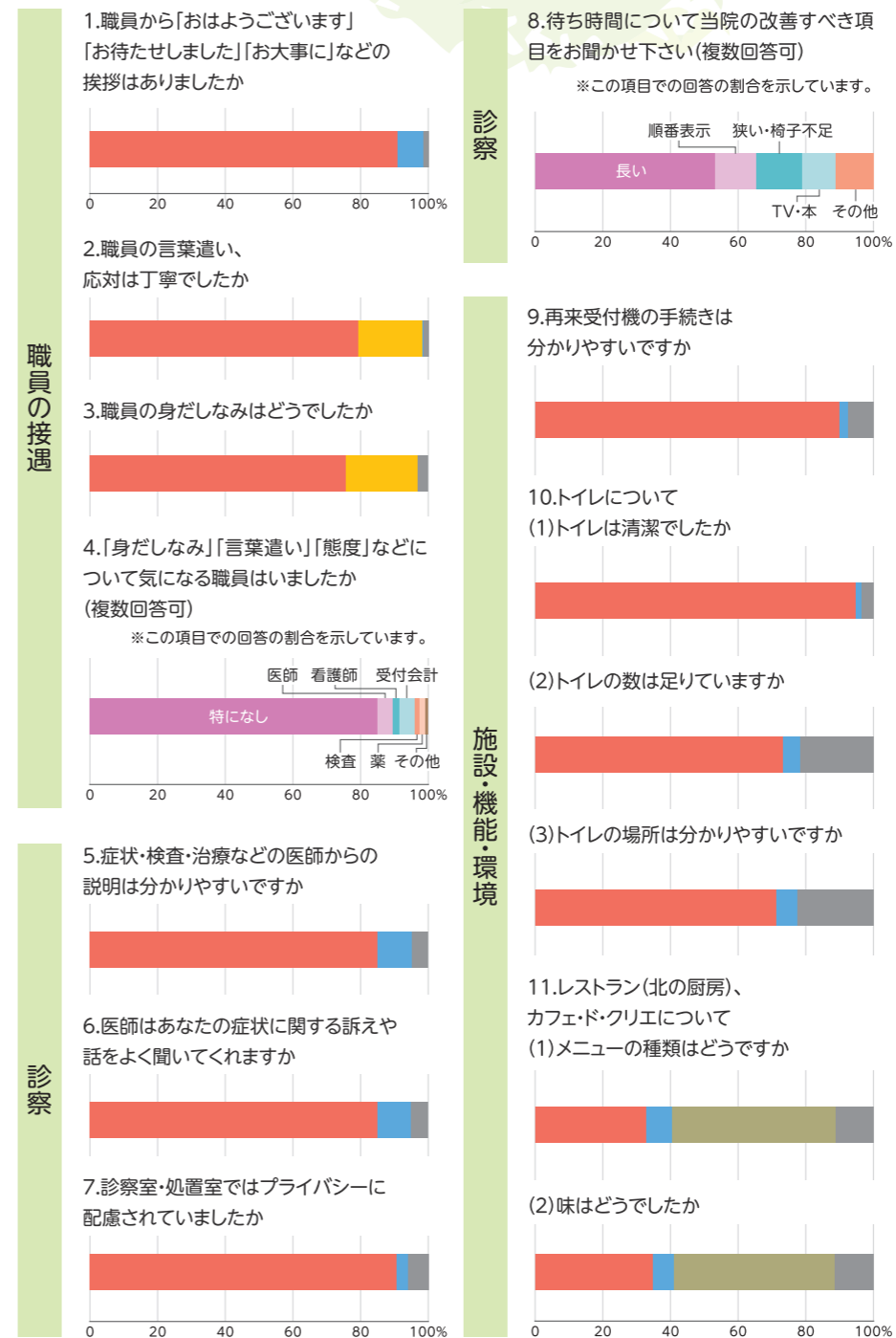


## 施設・機能・環境



## 病院全体評価など

## 外来



## 診察

## 施設・機能・環境

## 職員の接客

## 診察

## 施設・機能・環境

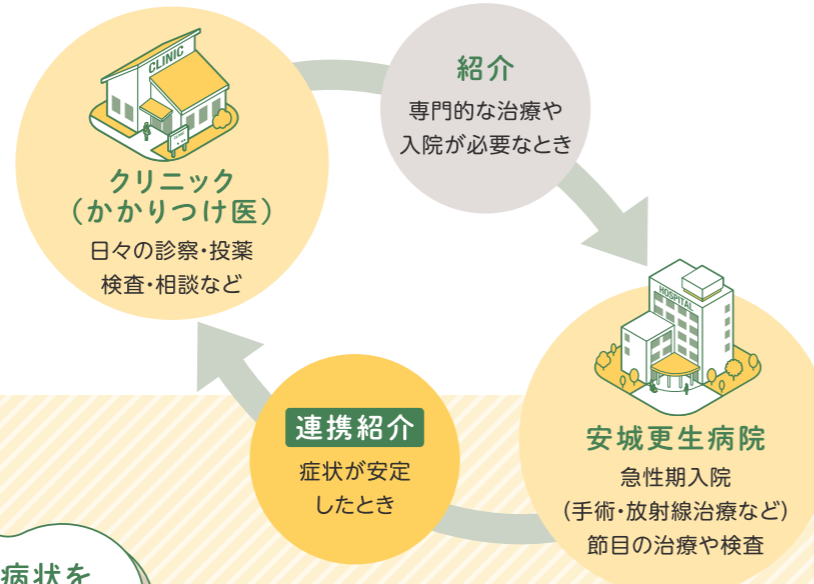
## 病院全体評価など



# かかりつけ医を もちましよう!



かかりつけ医とは、日常の健康管理や、ちょっとした体調の変化などを気軽に相談でき、自分の体の状態を把握してくれる最も身近な主治医です。地域における各医療機関の役割の最適化のため、当院は連携紹介を推進しています。



## よくあるご質問

**Q** 連携紹介になるともう病状を把握してもらえないのですか?

**A** 患者さんのカルテは当院でも引き続き保有していますのでご安心ください。クリニックの先生からの問い合わせには常時対応しますし、紹介状があれば、当院の地域連携室で診察の予約もお取りします。当院での治療の後に病状が落ち着けば、再びクリニックの先生に今後の治療をお願いすることもしばしばあります。

**Q** 大病院じゃないとちゃんと診てもらえないのでは…と不安です

**A** CT や MRI など検査の予約も、クリニックの先生方から多数受けていますし、専用枠を用意しているため、当院で予約するよりも早く検査を行えることもあります。当院とクリニックの先生方とは、医師会などを通じて日頃から関係を密にしています。お互いの診療内容についても情報を共有していますので、経験豊富なクリニックの先生から、必要時には適切な病院・診療科の診療を紹介していただけます。クリニックの先生には気軽に受診して、さまざまな健康上の相談にもしてもらえと思っています。

地域医療を守るため、  
!! 皆様のご理解・ご協力をお願いいたします !!

## 連携医紹介

安城更生病院は、地域医療支援病院として地域の医院やクリニックと連携し、皆さまの健康を守っています。日常の健康管理やちょっとした体調の変化など、連携医に気軽にご相談ください。

安城市

ピーチベルクリニック

3人に1人が無痛分娩で出産する、  
母子と女性の一生に寄り添う産婦人科

当院は2020年10月にピーチベルクリニックへ名称を変更後も変わらず、多くの分娩を取り扱ってまいりました。より母子の安全と快適さを重視した多彩なサポートをするべく無痛分娩を取り入れ、シャワー・トイレを完備した個室(一部の部屋を除く)やご家族の宿泊ができる特別室を整えました。退院後の産後ケアにも注力し、そのほか婦人科における女性特有の疾患予防や治療、予防接種、ブライダルチェックなど女性の生涯に寄り添ったケアを提供しています。

産婦人科グループ「ベルネット」のクリニックとして24時間365日、急な体調の変化など時間外でも診察できる体制です。母子と女性の一生に寄り添う産婦人科として、地域の皆様に親しみやすいクリニックを目指して取り組んでいます。

安城市新田町小山117 TEL 0566-76-8311

ホームページ▶

■診療科目: 産科、婦人科  
■休診日: 水曜午後、木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00-12:30	○	○	○	○	○	○	/
16:00-19:00	○	○	/	/	○	/	/

院長 堀尾 潤

西尾市

石川内科

「丁寧な診療」が信条  
地域の皆様のホームドクター  
として診療を行っています

「石川内科」は昭和54年に西尾市今川町にて先代が開業し、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病をはじめ、内科全般の診療を行っています。また、通院が困難な方にも医療を提供できるよう、私も含めた常勤、非常勤の医師5名が定期的に自宅へ伺う在宅訪問診療も行っています。

在宅診療においては、その人がその人らしく生活できるように、また不安の解消の手助けになるように、患者様・ご家族様に寄り添う診療を心掛けていきます。

また地域のかかりつけの医院として「丁寧な説明」を信条とし、一人ひとりの症状・疾患に合わせた医療を提供するよう努めています。

どうぞ治療・検査等についてお気軽になんかご相談ください。

西尾市今川町東大城15-1 TEL 0563-54-3631

■診療科目: 内科、循環器内科、胃腸内科  
■休診日: 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00-18:00	○	○	/	○	○	/	/

院長 石川 太郎



## 院内デイケア「ぽかぽか」で 少しでも入院生活に安心を

患者さんが入院中の生活リズムを整えるとともに、人との関わりやコミュニケーションを増やし、気分転換につなげていただくことを目的に、院内デイケアを開設しました。入院中の不安を和らげ、人と触れあうことで少しでも笑顔の多い入院生活を送っていただきたいと考えています。



## 地元の“旬”をいただきます!

7月より、JAあいち中央さんから地元の新鮮な農産物を購入し病院食で提供する「地産地消の日」を開始しました。今までチンゲン菜や梨の「幸水」、ブロッコリー、ネギ、ナスなどの食材を提供しました。旬の食材について相談に乗ってくださるJAさんは、当院にとってとても頼もしい存在です。



中央:JAあいち中央さん ▶



## 令和6年度解剖慰霊式典

10月24日(木)

解剖慰霊式典は、当院でお亡くなりになった後、病理解剖のためにご献体いただいた方々に敬意と感謝を示すために毎年行われています。式典ではご献体くださった方々のお名前が読み上げられ、黙とうを捧げました。続いて度会病院長の式辞の後、参列者による献花が行われました。病理解剖にご献体されました皆様のご遺徳をしのび、謹んで哀悼と感謝の念を捧げます。



### 外来糖尿病教室のお知らせ

場所:南棟第13会議室  
日時:毎月第2木曜日  
14:00~15:00

どなたでも予約不要でご参加可能です。直接会議室へお越しください。

1月 9日	薬物療法について(薬剤師)
2月13日	運動療法について(理学療法士)
3月13日	旅行時・災害時の注意点 (糖尿病看護認定看護師)

※()内は担当者です。

市民公開講座へもお気軽にご参加ください!

### 糖尿病ってなに?

~病気について正しく理解しましょう!~

場所:第1講堂(本棟2階)  
日時:1月16日(木)  
13:00~14:00

講師  
看護師(糖尿病療養指導士)  
水越 美香

## 安城更生病院の 理念

- 医療を通じて地域住民の健康と幸福に寄与します。
- 患者中心の医療をあらゆる活動の原点とします。
- 職員が誇りと喜びを持って働ける職場を目指します。

### ●基本方針

1. 西三河南部地域における高度急性期医療を担う基幹病院として、救急医療・がん診療・災害医療・周産期医療の充実を図ります。
2. 安城市の市民病院的作用を担うとともに、地域の医療・保健・福祉(介護)の中心的役割を果たし続けます。
3. 教育病院として学術・研究に勤しみ、人材育成するとともに、地域や医療従事者の教育に従事し、高度医療提供を支えます。
4. 地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関として、行政・地域医師会・地域医療機関と協力し、地域連携と機能分化を推進します。
5. 病院の機能を十分に発揮するため、人材を確保し、働き方改革を推進するとともに、医療DXの導入を検討します。

## 感染症対策

のお願い

病院内では周囲の方に感染を広げないために引き続きマスク着用にご協力ください。

いんふおめーしょん

# こうせい

2025年冬号 No.127

発行日/2025年1月1日

発行責任者/病院長 度会正人

発行/安城更生病院 広報委員会

編集協力/株式会社エンカウント

JA愛知厚生連  
安城更生病院

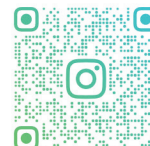
〒446-8602 愛知県安城市安城町東広畔28番地

TEL 0566-75-2111 <https://anjokosei.jp/>

HP



インスタグラム



ANJOKOSEI.HOSPITAL